

2016年
6月

No.212

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154

原水爆禁止国民平和大行進

金融労連の旗を掲げて県内通し行進

5月6日に東京都江東区の夢の島を出発した「2016年原水爆禁止国民平和大行進」(東京～広島コース)は、「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ビキニ、ノーモア・ヒバクシャ! 核兵器をなくそう!」をスローガンに、6月16日滋賀県入りし、県内一円を、核兵器をなくそう、「戦争法」廃止、核も基地もない平和な日本、原発ゼロなどを訴え、21日京都に引き継ぎました。

さざなみネットは、暮らしや職場の権利を守るためには平和が重要と、国民平和大行進への参加を呼びかけたところ組合員5人が参加。滋賀銀行従業員組合や先輩組合員のみなさん7人とともに、「金融労連」の旗を掲げて県内通し行進をなしとげました。

リレーノートに綴られた感想などを紹介します。



長浜市役所前

16日 関ヶ原～長浜

●関ヶ原公民館の引き継ぎ集会には初めて町長が挨拶されました。雨の中でしたが準備された椅子から多くの人々が溢れました。通し行進者の方のトランペットで「沖縄を返せ」の大合唱!会場は大いに盛り上りました。「継続は力なり」頑張ってきた事が今の情勢をつくってきたという話がありましたが、長年参加してきてその輪の中に居られた事を嬉しく思います。(清水)

●岐阜県からの引継ぎ式は、ギターによる「戦争を知らない子どもたち」、トランペットでの「沖縄を返せ」、「平和の暦」の合唱とにぎやかで、がんばろうという気持ちの沸く集会だった。

外は天気予報通り雨。「金融労連」の旗を持って歩くのが風にあおられて大変。見かねたのか、若い先生が代わっていただき有り難かった。

米原市山東庁舎は議会中で、歓迎式はルッチプラザに変更されていたが、連絡が悪く大幅に遅れた。例年なら長浜市役所で1時間弱の休憩時間があったが、今年は全然なかった。

風雨の中であつたが、今年は新しい情勢の下、元気に参加できうれしい。(山崎) (次頁へ続く)



あじさい 岩波 美智子さん 画



職場の声

60歳になりシニアスタッフになりました。今まで嘱託の人はフルタイムスタッフと月18日以上、パートタイマーの人はショートタイムスタッフと月16日以内と勤務日数が決まっています。

60歳くらいになると、健康、家族、住んでいる地域、趣味、家族の収入などから、多く働きたい人、余裕が欲しい人など様々です。

行員の場合は、希望により勤務日数を何日コースと選べるようになっていきます。シニアスタッフも行員のように勤務日数を選べるようにしてほしいです。

(前頁から) 18日 甲賀～湖南

●体の調子により日程のやりくりに困ってしまう今日、平和行進の時期になり今年思いきって甲賀・湖南ルートに参加しました。総人数80名でしたが地域によって行政の対応に温度差がありました。感激したり、がっかりしたり、晴れわたった青空の中、核兵器廃絶、原発反対を訴えて行進しました。平和行進の旗や、横断幕は気がむくまま、風に逆らうことなく歩いていました。

(奥村)



滋賀県庁前

21日 県庁～山科

●今年になって長く歩いた後回復するのに時間がかかり体力低下をひしひし感じる中、平和行進に参加出来良かったと思います。来年も参加出来ますように!

●昨年と同じコース、滋賀県最終日。天候を心配していましたが晴れ間も出て愉しく行進出来ました。京阪追分駅付近に咲く色とりどりの紫陽花は今年も綺麗に咲いていて疲れを癒やしてくれます。歩く顔ぶれも少しずつ変わって私もいつまで続けられるか?でも一歩でも二歩でも出来るだけ永く続けたいと思ってます。

(植木)



甲賀市役所前

原発学習会「大津地裁決定に学ぶ」

日本で初めて稼働中の原発を止めた

6月4日、「大津地裁決定に学ぶ」と題して福井原発訴訟(滋賀)を支える会事務局長瓜生昌弘さんの講演が、長浜市役所多目的ルームであり、さざなみネットの山崎書記長が参加しました。(長浜革新懇の総会のあと)

この決定とは、3月9日に高浜3、4号機の運転禁止を命じた大津地方裁判所の仮処分決定のことで、全国の脱原発を望む多くの人々に希望と勇気を与え、原発推進勢力に重大な打撃を与えました。鹿児島地裁での川内原発稼働容認決定や福井地裁異議審で原決定が覆されるという

原発再稼働の動きが続いていた中で、現に稼働している原発を止め、再稼働の流れを断ち切ったという点で

とりわけ大きな意義がありました。

しかし、関西電力は3月14日付で、仮処分の執行停止を求める申し立てと仮処分の取り消しを求める保全異議申し立てを行いました。

現在の最大の課題はこの決定を守ることです。裁判は、法廷における闘いと同時に世論の力が大事です。まずこの決定を学習し、みんなに訴えていくことが大事だと思いました。

大津地裁が 関電の申し立てを却下

関西電力が高浜原発3、4号機の運転差し止め仮処分決定の執行停止を求めた申し立てについて、大津地裁は6月17日、却下の決定を下しました。

原発ゼロの日本に道筋をひらいた決定を高く評価し、守るためにがんばりたい。



大津地裁の決定を喜び住民ら(17日地裁前)



講演をする瓜生事務局長

葉には迫力がありました。上映前に沖縄出身の日本共産党・草津市議の安里政嗣さんの「沖縄・辺野古現地の闘いについて」と題した講演もあり、米兵や米軍の武器におびえて暮らす沖縄の日常が映画と重なってよくわかりました。



元海兵隊員の軍属による女性暴行・殺人事件を受けて6月19日沖縄県で「被害者を追悼し、海兵隊の撤退を求める県民集会」が開かれました。この集会に呼応して映画「沖縄ぬ思い(うちなぬおもい)」湖北上映会が、6月11日勤労者福祉会館臨湖であり、さざなみネットの山崎書記長が参加しました。映画は、オール沖縄がつくられてきた経過が丹念に描かれ、県民の心によりそい、基地をなくそうとたたかい続けている沖縄の人々の姿を見事に映像化され感動しました。翁長知事の「沖縄をなめてはいけない」という言葉には迫力がありました。

沖縄をなめてはいけない

